

大谷台小学校 2 学期がスタートしました。コロナ感染症の拡大が続き、対策を継続しながらの学校生活  
がスタートします。保護者、地域の皆様には 1 学期に引き続き ご理解、ご協力よろしくお願ひします。

2022 年(令和 4 年)9 月 1 日

夏休みはコロナ感染症や熱中症の対策をしながら、挑戦の夏になったでしょうか。

本日 2 学期始業に当たり、本校学校教育目標「学び伸びる」を実現するために大切にしてほしいことを児童合  
言葉「やる気 げん気 やさしい心根」に沿って話しました。一部紹介します。

もう一つ、「伸びる」についてです。これもとても大切な言葉です。いろんな人がいます。皆違います。それが当  
たり前です。そして、一人一人違う皆さんと一緒に学ぶからこそ、一人で学ぶよりも何倍も楽しく、分かるよにな  
ったり、できるようになったりするのは。友達の発表を聞いて、「あっ、分かった」「ひらめいた」ということありま  
すよね。皆さんは、友達との生活や学びを通して、助け合い、更に伸びることができるのです。

悪口や暴言は皆が伸びようとするのを邪魔する行動です。悪口を言われて嬉しい人はいませんよね。悪口や  
暴力は、皆で伸びようとする大谷台小には必要ありません。では、どうしたらいいのでしょうか。自分がされて嫌だ  
と思うことは、友達にしなければいいのです。「自分がされて嫌なことは人にしない」自分で何も感じない場合は  
「どんな気持ちのなるのか想像してみる」「優しい心根」です。

みんなの合言葉「やる気、元気、優しい心根」を実現するためにみんなですべてしてほしいことを言います。それは「自  
分から 自分らしく 自分の言葉で語る」ことです。お互いに思っていることを言葉にすることで分かり合えること  
はたくさんあるはず。お互いに認め合うことで自分が知らなかった自分に気付くこともあります。やっている  
行動 言っている言葉 自分ではいいと思っていることも それはもしかしたら誰かを悲しませているかもしれませ  
ん。だから友だちが語ったことをきいて 自分が感じたことを伝えてください。それがお互いを知ることになりま  
す。そして自分もまた自分を知ることに繋がります。大事なそれはそれぞれ一人ひとりが違っていること、同じことは  
みんな 幸せになりたいと思っていることです。1 学期の学びと夏休みの学びを活かす時です。悲しい時言葉に  
できない時 そんなときは時間が経ってからもいいから言葉にして 話して 分かり合って認め合うみんなで過  
ごしましょう。

コロナ感染症、熱中症対策 まだまだ試行錯誤の毎日です。夏休みすべての出来事に何か感じて過ごしてい  
たことでしょう。思い出してみてください。それが今の自分です。感じたことや経験したことを語って「 チャレンジ  
リフレクション」自分で考え決める 自分から学ぶ そして伸びる 2 学期にして行きましょう。

まず、一人一人がこのことができれば、もっともっと皆が伸びることができるステキな学校になります。どうです  
か、皆でやってみませんか。もちろん、先生方もやってみます。

2 学期の最初に、「学び伸びる」ために大  
切にしてほしいことを話しました。もし、今日の  
話を忘れそうになったら、教室のどこかに貼っ  
てある「学び 伸びる」の言葉を見て、思い出  
してください。自分が好きなことちょっと努力  
すればできることを継続するとそれが自分の  
力になります。自分で決めた夢を実現するた  
めに 目標をもって「やる気 元気 優しい  
心根」で頑張りましょう。

